

最新鋭フェリー乗船と建造造船所見学ツアー

(2022 年 9 月 21～23 日実施)



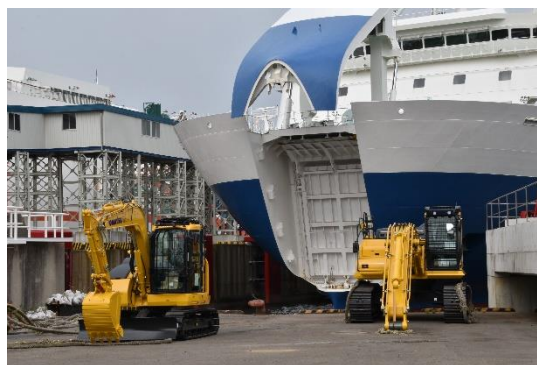
巖流島から見た三菱造船下関造船所と関門海峡連絡船

日本では、長距離フェリーと呼ばれる 300km 以上の航路に就航する船が数多く就航しており、日本の造船所の高度な技術力を駆使して建造されています。その中の一隻である名門大洋フェリーの新造船「フェリーふくおか」に乗船して、その船旅を体験すると共に、同船を建造した三菱造船の下関造船所を訪問して、その誕生の裏側をみる、大学で船舶工学を学ぶ大学生だけを対象とした企画です。下関では、三菱造船所で建造中の日本初の LNG 燃料のカーフェリー「さんふらわあくれない」を見学、同造船所で働く先輩からの講義を聞かせていただきます。

■下関への移動と宿泊

大阪南港から名門大洋フェリーの「フェリーふくおか」に乗船し、帰りもフェリーで戻ることも可能です。

下関での宿泊は各自で予約してください。



(1) 暫定スケジュール

9 月 21 日 19 時大阪南港フェリーターミナル集合(乗船後、船内見学をします)

19 時 50 分出港 夕食・懇談。右舷には神戸の夜景が綺麗に見えます。

20 時 50 分 イルミネーションに輝く明石海峡大橋の下を通ります。展望浴場に浸かりながらも見られます。晴れていればデッキからの星空も綺麗です。

9 月 22 日 8 時 30 分 新門司港に到着。

13 時の三菱造船下関造船所集合まで自由行動です。船の無料連絡バスで門司まで移動し、関門海峡を渡る渡船で下関まで行くのがベストでしょう。20 分で到着します。門司港から関門海峡を渡る船(20 分おきに出ています。航海時間は 5 分。)で、海峡に浮かぶ巖流島に寄ることもできます。巖流島は宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘の島で、三菱造船の下関工場で建造中の船を見ることができます。なお巖流島への便は土日以外は下関港からの発着のようですので、関門連絡船の時刻表をチェックしてください。

■三菱造船での研修スケジュール

13 時までに三菱造船下関造船所に集合

13 時 15 分 開会式・安全教育
13 時 30 分 工場見学
14 時から 建造中の「さんふらわあくれない」見学(写真撮影禁止)
15 時から 移動・休憩
15 時 30 分 造船所紹介 DVD
15 時 40 分 講演「造船所の仕事の魅力」①LNG フェリー船殻担当を通して
16 時 20 分 講演「造船所の仕事の魅力」②名門大洋フェリーの性能担当を通して
16 時 50 分 質疑応答・閉会式
17 時 20 分 移動
17 時 30 分～19 時 30 分 懇親会

(2) 下関または門司で宿泊

各自の予約した宿に宿泊してください。

なお、新幹線を利用すれば宿泊せずに大阪までに当日中に帰ることも可能です。料金は 1 万 4 千円ほどです。

(3) 帰り

9 月 23 日の夜にフェリーで帰る人は、新門司の名門大洋フェリーのターミナルに。門司から連絡バスがあります。港では各自でチェックイン。19 時 50 分の出港で、翌朝 8 時 30 分に大阪南港に到着します。

(4) レポート

ぜひ、研修レポートを書いてみてください。字数はいくらでも結構です。研修旅行がよかったか、わるかったかについてもシビアに評価してください。

世話役

大阪公立大学工学部船舶工学科・片山研究室:

B4 黒川 謙太 (sdb03049@st.osakafu-u.ac.jp)、B4 諸田 大輝 (sdb03125@st.osakafu-u.ac.jp)、B4 山内 星徳 (sdb03128@st.osakafu-u.ac.jp)